

INTERKYOTO

インターキョウト



(渡月橋)

2000.8. No.12

京都情報サービス産業協議会
発行：京情協企画広報部会



本年度中の法人化申請を目指して

法人化準備委員会

委員長 間瀨 和正

当協議会の活動のなかでも、法人化実現に向けての活動は最重要課題であり、かつ、本年度は申請迄に到達するための、またとない好機と認識し、委員会一同、積極的にこれに携わっているところであります。

京都府も、当協議会の法人化推進を積極的に支援する姿勢を示されており、商工部様を中心に多くの実質的なご指導・ご支援を頂いております。

さて、昨年11月、当委員会の執行体制が再編され、その後の初会合では、白石会長より委員会運営方針について説示を受け、「本年度中に法人化申請し、認可の見通しをつける」ことを目指して委員一同、決意を新たに致しました。

短期間で実効を得るためには、何よりも、京都府商工部様との直接的な対話の場を重ね具体的な助言を頂きながら、実際の申請準備作業を、極力無駄なく効率的に展開することが肝要と考えました。

以降、申請の要諦となる「法人化の目的（事業の公益性）の明確化」に焦点をあて、細分に亘り、商工部様との懇談を重ねて参りました。

現在、「京情協の公益事業概要（案）」について、商

工部様との間で事務レベルの詰めの段階に至っておりますが、申請に向けての今後の実践すべき事項、手続などを含めて、その方向性が、かなり鮮明になってきたと感じております。

今後のクリアしていかなければならない手続は「事前協議 事務レベルでの確認の取り付け 審査会付議・承認 申請書提出 認可」ということとなります。

今は、設立本申請に向けての第一歩を踏み出したところであり、当面の最大の山場は事務レベルでの事前協議にあると考えております。現在、商工部様より事前協議のための提出資料として、設立趣意書、事業計画書など5種類の掲示のご指示をいただき、その作成にあたっております。

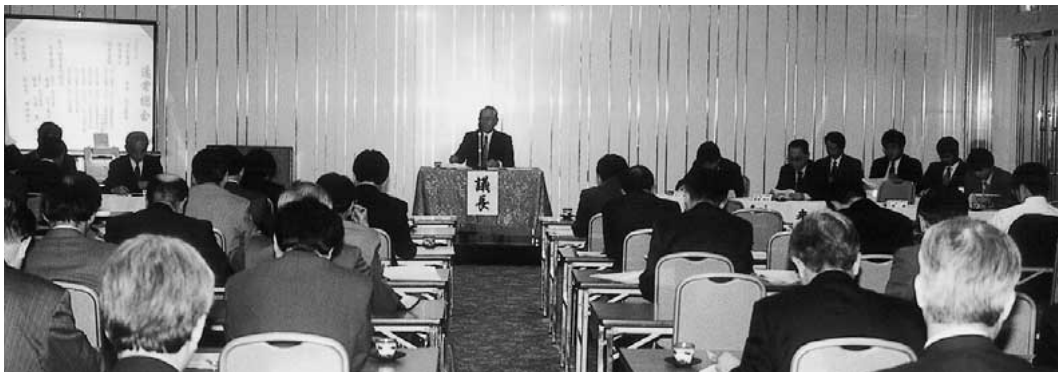
今後乗り越えなければならない多くのハードルが予測されますが、引き続き、商工部様の絶大なご支援と委員各位の活動を切に、お願いするところであります。

最後になりましたが、会員各位におかれましては、会員増強などの面で、御支援・御指導を賜わりたく、お願い申し上げます。

平成12年度通常総会を開催

第一部総会

任期満了に伴う役員改選で白石会長が再任され、副会長の3名体制が発足。また会員数50社を達成、幹事会を10社とする執行体制に強化される。



(総会)

京都情報サービス産業協議会の平成12年度通常総会が4月27日、平安会館で午後14時30分から開催されました。会員48社から26社44名(委任状出席10社)が出席し、また、ご来賓には京都府商工部産業推進課参事の山下晃正氏(6月に同課長に就任)、同産業技術係主任の岡田宏一氏、京都府中小企業総合センター経営課課長の岩田信介氏、同主事の仁科豪士氏、京都市産業観光局商工部産業振興課課長の大森憲氏、同振興課係長の安井輝夫氏、同振興課主任の菊池章浩氏にご臨席いただきました。

初めに司会者から来賓各位のご紹介がされ白石協議会会長の開会挨拶があり、引き続き京都府来賓の山下課長と京都市来賓の大森課長から協議会への激励のお言葉をいただきました。

議長の選出では白石会長が推薦され承認の後、議案審議に入りました。

第1、2号議案で平成11年度の事業報告と収支決算報告及び監査報告、第3、4号議案で平成12年度事業計画と事業予算について、第5号議案で任期満了に伴う役員改選の件、第6号議案で賛助会員の会費の件、第7号議案で新たに2社(エイジシステム株式会社、株式会社ジーエス情報ネットワーク)の正会員と第一号賛助会員(関西日本電気ソフトウェア株式会社京都支社)の入会が審議され承認されました。各々の議案で質疑応答があり採決の結果、全て原案通り満場一致で承認されました。

審議終了後、新たに入会を承認された会員の代表から自己紹介が行われました。最後に間瀬協議会副会長の挨拶で総会を閉会しました。

白石会長開会挨拶要旨

当協議会は昨年度の法人化準備委員会活動を中心に会員数を増やし、本日ご入会予定の会員を含めて50会員の規模となった。府内同業企業者総数の会員組織率も70%台となり、京都府様には法人化懇談会も予備審査としての認識もいただける段階となり大いに感謝している。



白石会長

日本の経済状況はIT産業が牽引役となり上昇傾向にあるものの中小企業が今のIT革命の恩恵を受けているのか、行政施策でも力を入れていただいているが、京都の諸団体活動は立ち後れている。我々産業団体が法人組織化を実現して京都にもIT革命の恩恵を浸透させ、地域の一層の活性化を図りたい。

今年度には申請書類を審査いただき21世紀新時代に当協議会として再スタートができるよう会員、関係者が一致団結し法人組織化への正念場としたいので本日、ご臨席の行政各位の強力なご支援をお願いしたい。



ご来賓挨拶要旨

京都府・山下課長

教育分野の情報化推進施策の一つとして行っているエデュテームントフォーラムへのご協力に感謝したい。

京都府知事挨拶の言葉の中にも“IT革命に乗り遅れるな”が述べられており、府南部地域の強化施策として長年の文化の力を背景に情報産業の中小企業も包括したビジネスチャンス造りを推進する。関西圏の経済諸団体の施策とも協調して京都地域での役割を果たしたい。

府としてIT関連施策の推進には京情協の協力は必要な要素であると考えている。会長の意向や会員の熱意も十分にあり、これまでの協議会事業は他府県の同等団体とも遜色のないレベルを持った内容であり、今後、府行政としても強力に支援し諸施策を推進していきたい。



山下課長

京都市・大森課長

始めに白石会長の決意表明に対して当協議会の法人化活動にエールを送りたい。そして、京都の情報化の新たな産業展開に結びつくよう市の立場からも応援したい。

市としても情報化施策を推進してきた。京都市役所の計算センターの設立は大阪市に続き全国で2番目であり、大森課長
当時から皆さんにお世話になってきた。さらに情報化推進室を設置して情報化施策を推進している。市が府の協力も得て始めたKRPでの代表的な事業も国で法制化されるまでになり文字通り全国に先駆けた事業展開を行っている。

今年は情報化に関する調査をアステムに委託し、行政として情報化社会の表と裏を見つめ直している。そこでニッチな課題を発見しビジネスチャンスに結びつけたい。新産業発展の裏側にある負の遺産の解消策を施策に反映させていきたい。京都経済を必ず回復させていくため皆さんのご協力をお願いしたい。



第二部講演会

「シリコンバレー最新事情」

当協議会の奥村幹事の司会で京都高度技術研究所客員研究部長（新産業担当）田崎央氏を招いて講演が行われました。

昨年秋に通産省の視察団の一員としてシリコンバレーを訪問され、2～30年前と現在のアメリカ社会を比較され、50兆円規模のeコマースによる取引市場の現状やIT革命の最中でソフトウェア産業の急激な成長率を支えているのはVBに関わる人々の独立志向、現状打破の思考が高く、日本の集団主義思考との格差を大きく生み出している。また、事業活動上の規制が無いこと、学生パワーの存在が大きいこと、学校の教授は研究資金を企業から自ら募る仕組みなどがアメリカを生き生きさせている。

日本も今後はモバイル環境や通信コストの低廉化が整備されれば先行しているアメリカのIT社会に追いつける見通しがあると予想されていた。



田崎央氏

講師の提言

1. 中小企業はうまく大企業を利用（契約）して飛躍できる。
2. 業界通など、顔ききの人物と仲良くなる。
3. ストックオプション採用の促進。
4. 事業の失敗経験者を評価し積極的に生かす。
5. 中小企業はシステムゾーンチップを研究すべき。
6. ニッチなアプリケーション領域で徹底する。
7. 低賃金諸国との競争優位はソフト開発の生産性向上にある。
8. 先進的なソフトウェアを開発するために教育関係機関と人の交流を積極的に行う。



各部会長の就任ご挨拶

第三部懇親会

総会プログラムの最後は懇親会が開催かれ、シーエスケイ京都システム(株)の池田社長(経営部会長)の司会進行により、当協議会の新副会長に就任された島津エス・ディ(株)の北村社長から開会の挨拶がありました。

ご来賓を代表して京都府中小企業総合センターの岩田信介経営課長のご挨拶、また当協議会の賛助会員入会第一号となって頂きました関西日本電気ソフトウェア(株)京都支店の山本一雄支社長からもご挨拶いただきました。

乾杯の音頭は当協議会の新監事に就任されたワールドビジネスセンター(株)の柳田社長にご発声いただきました。60名余りの来賓、会員各位で懇親の場が持たれ、最後に新副会長に就任された日本コンピューターファシリティー(株)の田中義則社長から中締めのご挨拶があり散会しました。

(懇親会)



役員・幹事改選

- 会 長 京都電子計算(株)
代表取締役社長 白石 雪翁
- 副会長 (株)京信システムサービス
代表取締役社長 間瀬 和正
- 副会長 島津エス・ディー(株)
代表取締役社長 北村 昱
- 副会長 日本コンピューターファシリティー(株)
代表取締役会長 田中 義則
- 監 事 ワールドビジネスセンター(株)
代表取締役社長 柳田 稔
- 幹 事 オムロンソフトウェア(株)
- 幹 事 (株)京信システムサービス
- 幹 事 京都電子計算(株)
- 幹 事 けいしんシステムリサーチ(株)
- 幹 事 (株)ケーケーシー情報システム
- 幹 事 シーエスケイ京都システム(株)
- 幹 事 島津エス・ディー(株)
- 幹 事 (株)日新システムズ
- 幹 事 (株)総合システムサービス
- 幹 事 ワールドビジネスセンター(株)

経営部会の活動・運営について

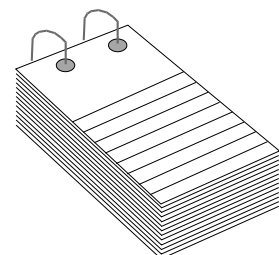
経営部会長 池田 昭
シーエスケイ京都システム(株)

会員の皆様、平素は経営部会の活動、行事にご協力をいただきましてありがとうございます。皆様のご推薦をいただきまして、今年度より部会長を務めさせていただきます。CSK京都システム株式会社の池田でございます。まだまだ未熟な若輩ですが何卒よろしく申し上げます。今年度は部会員も大幅に増員となり、ますます責任を痛感しております。

さて、昨年の経営部会主催の第1回会員交流会は、当社の親会社であるCSKの青園副社長(現社長)を招聘して講演をしていただきましたが、今年も「日本のビルゲイツ」?ことアスキーの西取締役をお招きすることになり、7月28日にハートンホテル京都で90名の皆様にご参加いただき盛大に行われました。このように、CSKグループは幸いにもこういう人材が豊富ですので、今後ともお役にたてればと考えています。

そこで肝心の経営部会活動ですが、まずは今まで通りに京都府中小企業総合センターからの景気短期観測調査に協力させていただくことで、京都府政に貢献したいと考えています。また、二番目の活動ですが、定例部会において部会員相互の経営上の課題をテーマとして掲げ、各社の現状を討論することで相互の問題解決に貢献したいと考えています。先日行われた第1回定例部会では、「各種補助金の紹介と申請ノウハウ」、「瑕疵担保責任、損害賠償などの実態」をテーマに各社の現状を討論しました。このように実際に起こっている、または悩んでいるテーマを取り上げていますので、当部会員以外の会員皆さんの会社での課題や問題をアピールして頂きたいと考えています。

会員の皆さんには、今年度も経営部会の活動にご理解をいただきますと共に、沢山のご意見や助言をお願いいたします。



技術部会の活動・運営について

技術部会長 山本 孝
島津エス・ディー(株)

昨年度に増して情報技術（IT）が叫ばれる中、技術部会の目的としても更なる情報技術への取り組みに注力し、会員相互の交流に努めていく必要があると考えています。

昨年度の会員交流会では「ISO9000の概要」、「パソコンの将来・近未来」をテーマとした講演会により品質管理および品質保証といった、これからの品質保証時代のソフト・インフラとしての必要性を再認識したり、また進化し続けるパソコンに対応した情報サービス産業の新しいビジネス形態を再考させられるなど、いずれも会員の大多数が関心を持つものばかりでありました。

今年度の活動方針としては、情報技術に関するテーマを取り上げて年間2回の会員交流会開催と、新企画として“SE分科会(仮称)”を適宜開催してまいります。この企画は、会員各社のシステム開発部門に携わる中堅管理職者・中堅技術者の実務者同志が情報交換することにより、日頃抱えている課題解決やマネージメント力の向上に少しでも役立させていただくことを狙っております。

尽きましては、技術部会会員も増したことであり出来るだけ数多くの参加者が「参加して良かった」と実感していただける活動にしていきたいと考えております。

会員の皆様には、今年度も技術部会の活動にどうかご支援とご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



企画広報部会の活動・運営について

企画広報部会長 出野 信夫
けいしんシステムリサーチ(株)

企画広報部会の本年度の活動方針は、前年度の活動の継承を基本に、当協議会の本年度事業計画に基づき次の事業活動を行ないます。

(1) 会報誌「インターキョウト」の発行

12号は、設立申請に向けた法人化準備委員会の報告、通常総会・会員交流会、部会活動方針、会員紹介ニュース、今後の行事予定等で構成し8月中旬に発行します。13号は、平成13年1月に発行の予定です。

(2) インターネット・ホームページの開設

前年度に固まった構成にコンテンツを仕上げ、10月に開設の予定です。コンテンツの中で会員名簿ページについて、会員の承認を得て本年度更新後の「平成12年度版会員名簿」の内容掲載と会員独自のホームページへのリンク対応を行ないます。

(3) 総会併催行事、情報化月間行事の企画・運営

(4) 会員名簿更新発行

平成11年度実績に基づく「平成12年度版会員名簿」を発行します。

(5) 京情協ニュースのFAX配信

協議会行事と会員動向、行政関連情報、全情連関連等の情報を会員へ広報します。

以上の会員に対する広報活動に加え、行政機関、地域関連諸団体等外部に対しても開かれた広報をめざし当協議会の知名度向上に努めます。会員各位のご支援とご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

ANIA(全国地域情報産業団体連合会) 青森大会報告

6月8、9日と青森県で第22回全国地域産業団体連合会(ANIA)全国大会に白石会長が参加された。

今回は「縄文の里・青森」大会と銘打っての大会で総会、情報セミナーなどが開催された。総会には県内外から1300名、懇親会には340名余りの参加があり、来賓は県知事、市長、郵政省、自治省、通産省の各方面から招かれた。昨年と比べ若干景気も明るい兆しがあり例年とは違った雰囲気のある盛大な大会であった。

来年の大会は山口県、再来年は北海道で予定されます。

第1回会員交流会

講演会演題：「IT産業の将来像」

主催：京情協（経営部会担当）

協賛：(財)京都産業情報センター

講師：アスキー(株)取締役副会長
西和彦氏

7月28日に今年の第1回会員交流会企画としてアスキー社から西和彦取締役副会長を招いてハートンホテル京都を会場に講演会を開催しました。この催しには(財)京都産業情報センターの協賛もいただき、80数名の聴講者があり予定会場が満席となりました。副題は「情報通信社会の国際化と日本の役割」とされ歴史的に見たグローバルな視点から、過去の地球上における文明盛衰の波とインターネットで繋がった現在の世界文明の地域別分析などを元に業界の将来展望を語られた。

インターネットを媒介にして人類の知識の力を有効に生かし、共有することができるネットワーク社会は今後もアメリカが優位性を持続するため、それを背景として日本の果たすべき役割は日米関係やアジアにおける日本の立場を理解した上で、我々、情報産業界に身を置く企業は社会貢献を考慮した“公共的私企業”でなければならないと提言された。

今はインターネットで何ができるかを考えねばならないのでは……。



西和彦氏



正会員

エイジシステム株式会社 京都営業所

代表者名：代表取締役社長 伊原 英二

担当者名：取締役部長 谷岡 伸昭

所在地：〒604-8166

京都市中京区三条通り烏丸西入御倉町64
KB ANNEX 3F

電話：075(251)7500 FAX：075(251)7501

《URL》<http://www.agesystem.co.jp>

事業内容

金融関連機器の制御プログラムの開発

各種カード発行機の制御プログラムの開発

プリンタ装置の試験用プログラムの開発

インストールツール

ハードウェアシミュレーション

製造業向け生産情報システムの構築

製造業向け調達関連システムの構築

製造業向け生産ラインの制御システムの構築

経営情報システム(経理/人事)の構築

営業支援システムの構築

ロジスティックシステムの構築

正会員

(株)ジーエス情報ネットワーク

代表者名：代表取締役社長 奥田 一雅

担当者名：総務グループ部長 喜田 謙

所在地：〒601-8034

京都市南区吉祥院西ノ庄猪之馬場町1番地

電話：075(312)0094 FAX：075(316)3003

得意な技術

システム開発、ネットワーク構築

主な開発実績

ピッキングシステム構築(98年度)

受託範囲

計算機業務受託、システムインテグレート

コンピュータ機器販売

賛助会員

関西日本電気ソフトウェア(株) KNES

京都支社：〒600-8433

(所在地)京都市下京区高辻通室町西入ル繁昌町
310 田中久ビル

代表者名：支社長 山本 一雄

担当者名：主任 中東 敏明

電話：075(344)4861

《URL》<http://www.mesh.ne.jp/knes/>

サツマ通信工業は、先進のメカトロニクスと薄膜技術を駆使しエレクトロニクスデバイス製造のソフトとハードウェア開発をお手伝いしています。



業務内容

液晶・半導体製造装置及び周辺機器の開発、製造・プリント配線基板製造システムの開発、製造開発から製造、デバックまでお客様のニーズにスピーディにお応えし、短納期を実現しています。

サツマ通信工業株式会社
〒607-8177 京都市山科区大宅古海道町22の1
電話 075 - 592 - 7518 FAX 075 - 592 - 4124
E-Mail sazma@alles.or.jp
URL <http://www.alles.or.jp/sazma/>

私たちは、人とソフトウェアの未来を見つめ、
価値あるシステムを創造し、
人間性豊かな社会の実現に貢献します。

NEC

NECグループの総合力を背景にした高い専門性、ITをベースに、お客様のあらゆるニーズに対応できる幅広い業種・業務ノウハウを備えインターネットソリューション事業、最適なシステムインテグレーションを実現・提供しています。

主な業務内容

- ・インターネットソリューション事業(ネットワーク、インターネット等)
- ・業種・業務ソリューションサービス(自治体、金融、物流、医療、財務管理等)
- ・システム技術支援サービス(汎用機、サーバ機、オフコン、パソコン等)
- ・教育サービス(MSU、Java、PC、個別企業研修等)



関西日本電気ソフトウェア株式会社 全事業部ISO9001認証取得済

京都支社
〒600-8433 京都市下京区高辻通室町西入る繁昌町310番地 田中久ビル
TEL : 075(344)4681 FAX : 075(344)4682

本社
〒540-8551 大阪市中央区城見1丁目4-24(NEC関西ビル)
TEL : 06(6945)3400(代表) FAX : 06(6945)3402
e-mail : webadmin@knes.nec.co.jp URL : <http://www.knes.co.jp>

平成12年度部会員エントリー名簿一覧(敬称略)

経営部会

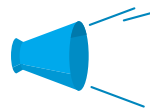
シーエスケイ京都システム(株)	(部会長)	池田 昭
(株)暁電機製作所		西河 勝男
オムロンソフトウェア(株)		奥村 良三
(株)カスタムウェア		廣瀬 義治
(株)京装コンピューター		村田 和彦
京都工業(株)		吉川 毅
(株)近畿リサーチセンター		池田 和三
(株)サンモアテック		植田 直哉
ジーエス情報ネットワーク		喜田 謙
(株)システム ディ		井ノ本登司
(株)島津ビジネスシステムズ		直江 一治
(株)スリーエース		井上太市郎
(株)総合システムサービス		古川 峰生
竹菱電機(株)		木村 道也
日本コンピューターファシリティ(株)		土井 達弥
バンテック(株)		馬場 喜芳
(株)ユニシス		藤関 治清
(有)リラテック		泉 清一
ワールドビジネスセンター(株)		池田 達夫
(賛助会員)		
関西日本電気ソフトウェア(株)京都支社		山本 一雄
(事務局窓口)		
京都電子計算(株)		駒井 一正

技術部会

島津エス・ディー(株)	(部会長)	山本 孝
アステック(株)		安達 貞雄
ウエダコンピュータシステム(株)		武部 裕彦
エイジシステム(株)		谷岡 伸昭
(株)京信システムサービス		佐々木 洋
京都システムズ(株)		中島 義雄
(株)京都ソフトウェアリサーチ		長澤 恒也
(株)京都テクノシステム		金田 哲郎
京都電算紙印刷		平井 晃
シーク電子工業(株)		田中 正道
(株)ゼロワン		上野 和夫
中信コンピューターアンドコミュニケーション(株)		久保 重
(株)日新システムズ		宇佐美 喬
ムラテック情報システム(株)		片山 節夫
(賛助会員)		
関西日本電気ソフトウェア(株)京都支社		山田 茂雄
(事務局窓口)		
京都電子計算(株)		植田 弘毅

企画広報部会

けいしんシステムリサーチ(株)	(部会長)	出野 信夫
(株)アクセス		長谷川浩司
アド・プロヴィジョン(株)		西田 周平
エスピーメディアテック(株)		
エヌ・ディ・アール販売(株)		
(株)カワイプロ		河合 隆司
(株)京都インクス		
京都コンピュータシステム(株)		
グローバルサービス(株)		
(株)ケーケーシー情報システム		小林 聰
サツマ通信工業(株)		増田 賢治
シゲル情報サービス(株)		
システムプロデュース(株)		中川 茂之
日本ソフトウェアサービス(株)		大西 克典
平成情報サービス(株)		淡路 忠幸
(株)モータス		川名 忠
(賛助会員)		
関西日本電気ソフトウェア(株)京都支社		後藤 則雄
(事務局窓口)		
京都電子計算(株)		松原 克孝



事務局だより

京情協サロン企画・第2回グリーンサミット(会員親睦ゴルフ大会)が9月2日(土)に“宇治カントリークラブ”にて開催されます。エントリーは5組の予定で昨年より増えています。

京情協サロン企画・第2回会員会社対抗ボーリング大会が8月23日、“しょうざんボール”にて開催され、60数名の参加者がありました。

京都商工会議所地域活性化推進委員制度について今年度、京都商工会議所より小規模事業者支援促進法に基づき小規模事業者に対する経営改善普及事業を推進し、地域の振興・活性化に対応していくための地域活性化委員に商工会議所会頭から京情協白石会長が委嘱を受けました。

京情協のホームページ開設準備について

通常総会後の懇親会の場で当協議会ホームページの構成について、原案をアド・プロヴィジョン(株)様の協力を得て会員の皆様にご紹介させていただきました。今後はコンテンツの充実のために会員各位から掲載内容のご提供をいただき公開に向けた取組みを推進しますので、ご協力をお願いします。

編集後記

この夏は記録的な猛暑となり、会報誌がお手元に届く頃も、厳しい暑さが続いているのではないかと思います。皆様いかがお過ごしでしょうか。この暑さは、サラリーマンにとって通勤にしろ営業で外に出る機会にしろ大変こたえます。しかし一方ではクーラーやビール、飲料品の販売が好調と聞けば、ひょっとしてこの猛暑が個人消費の拡大につながり景気の自立的な回復のきっかけになるかもしれないと思えば、やはり夏は暑い方がいいと考えるのは小生だけでしょうか。

さて、本協議会もトップページの法人化準備委員会の報告にありますように、会員数は50社に達し、また公益性を重視した事業目標も固まって、いよいよ設立以来念願の法人化申請に向けての準備が整いつつあります。我々にとりましてやがて幕開ける21世紀が、公益法人としての本協議会であり名実共に活躍の舞台であるよう願わずにはいられません。

企画広報部会では、会報誌インターキョウトの誌面がより充実したものになるよう、会員の皆様からのご意見、ニュース等の投稿をお待ちしておりますのでよろしくお願いたします。

